

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/09/02

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.04	0.10
JPY/THB	0.2329	-0.0013
USD/JPY	146.17	1.18
EUR/THB	37.59	-0.02
EUR/USD	1.1048	-0.0029
USD/CNH	7.090	-0.004
SGD/THB	26.02	-0.03
AUD/THB	23.03	-0.06
USD/INR	83.87	0.00
USD Index	101.70	0.35

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.282	0.002
10Y (THB)	2.557	0.007
5Y (USD)	3.703	0.036
10Y (USD)	3.903	0.042

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,504.5	-32.2
WTI (Oil)	73.55	-2.36
Copper	9,235.0	-9.0

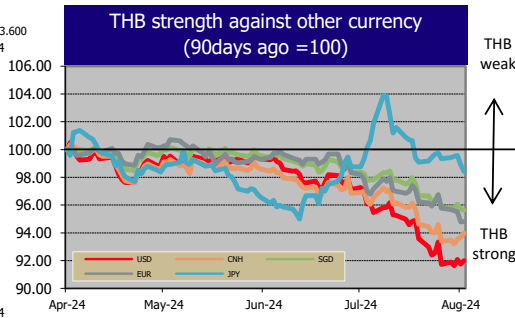
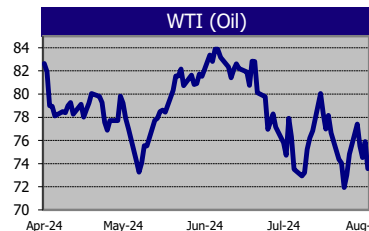
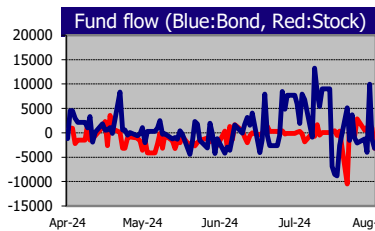
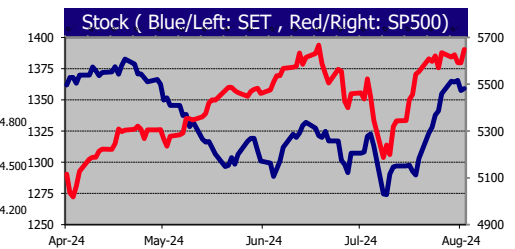
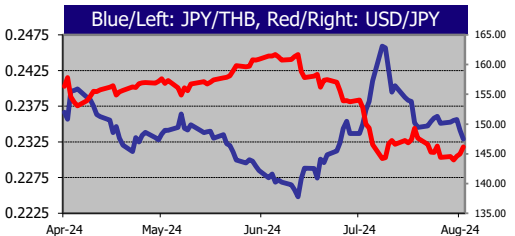
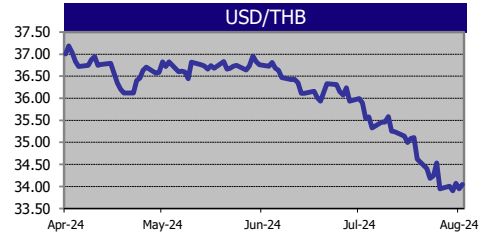
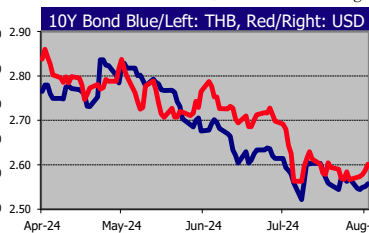
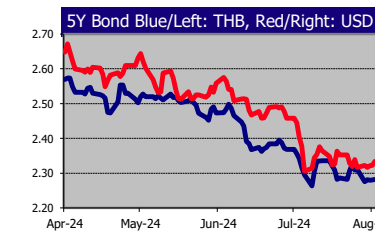
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,359.07	1.66
NIKKEI (JP)	38,647.75	285.22
DOW (US)	41,563.08	228.03
S&P500 (US)	5,648.40	56.44
SHCOMP (CN)	2,842.21	19.11
DAX(GER)	18,906.92	-5.65

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,184)	-4152.2
Bond net flow	(3,181)	-1861.7

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・8月30日(金)のドルパーツは34パーツちょうどを挟んだ値動きが継続。33パーツ台後半の水準で取引を開始すると、前日の米経済指標の結果を受けたドル買いからバンコク時間正午にかけて34パーツ台前半まで上昇。ただ、バンコク時間午後にはタイ中銀から発表された貿易関データにおいて、輸出が前年比で+15.3%と大幅な改善を見せたこともあってか、ドルパーツは下落に転じ、海外時間入りにかけて33パーツ台前半まで戻した。その後、米7月個人消費支出が発表され、前回(6月分)を上回ったこともあり、再びドル買い優勢の地合いとなると、34パーツ台前半まで上昇し、そのまま34.04レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・8月30日(金)のドル円は上昇。144円台後半の水準で取引を開始すると、しばらく横這いでの推移が続いたものの、日経平均株価の堅調な値動き等を背景にじりじりと上昇。145円台に乗せると、海外時間に入っても底堅く推移。米7月個人消費支出の結果を受け上昇幅を拡大させると、終盤にかけては146円を突破し、そのまま146.17レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

9月に入った。毎月月初は米国をはじめとした主要国の重要指標発表が集中するタイミングであるが、今月、とりわけ注目を集めるのは6日(金)に発表される米8月雇用統計であろう。同指標については、8月2日に発表された前回分(7月分)において、非農業部門の雇用者数が大幅に予想を下回り、過去分(5月、6月分)についても下方修正され、失業率も予想以上に悪化したことで、大幅にドル安が進行したことは記憶に新しいところ。また、先月のジャクソンホール会議において、パウエルFRB議長が「インフレの上振れリスクが減退し、雇用の下振れリスクが増えた」、「労働市場がさらに冷え込むことは求めない」との旨の発言をしたことで、米国労働市場に対する注目度がますます高まっている。かかる中、今回の結果が米金融政策の見方に影響を与える可能性は高いと言える。その場合、先週26日(月)から34パーツちょうどを挟んで方向感に欠ける推移が続いているドルパーツ相場も動意付くことは必至である。市場が織り込む年内約4回の利下げ観測が「行き過ぎ」として修正されるのか、9月FOMCでの0.50%の利下げ観測を高めるのか、上り下りの可能性も想定し得るところであり、ヘッジオペレーションについては早めの手当をしておきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.